

日本工学院専門学校蒲田	開講年度	2019年度	科目名	放送映画リテラシーF1		
科目基礎情報						
開設学科	放送芸術科	コース名		開設期 前期		
対象年次	2年次	科目区分	必修	時間数 30時間		
単位数	2単位			授業形態 講義		
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。					
担当教員情報						
担当教員	平岩モトイ	実務経験の有無・職種	有・CMディレクター、クリエイティブ・ディレクター			
学習目的						
本科目を受講する生徒にとってのCMは、映像コミュニケーションのあらゆることを教えてくれる宝の山である。たった15秒のCMには、映画誕生から120年余りの間に発見・考案されたあらゆる映像手法が駆使されており、我々はそこから多くのテクニックを学ぶことができる。ディレクター、プランナーはもちろん、CM業界に限らず広く放送・映像業界で仕事をしようとする若者にとって欠かせない映像の基礎体力作りを目指す。						
到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> 映像手法のパターンを知ることで、自分の仕事に応用ができるようになる。 映像の本質を理解することができる。 						
教育方法等						
授業概要	テーマごとにふさわしいアーカイブ映像を視聴し、「サンプル視聴」→「ポイントの整理」を繰り返すことで、なぜその表現が作られたのかを理解する。生徒の積極的な参加を促すために「アンケート」「レポート」を適宜実施する。やむを得ず、内容が前後、または変更する場合がある。					
注意点	遅刻・途中退出をしないこと。（正当な理由がある場合はその旨、申し出ること）内部資料を扱うことがあるため、授業で知り得た情報をSNS等に書き込むことを禁ずる。授業中の飲食、スマホ、ゲーム機の使用は禁止する。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。					
評価方法	種別	割合	備 考			
評価方法	試験・課題	60%	前期、後期それぞれの期末テストによる			
	小テスト					
	レポート	20%	授業内容の理解度を確認するために実施する			
	成績発表 (口頭・実技)					
	平常点	20%	授業態度を評価する			
授業計画（1回～15回）						
回	授業内容	各回の到達目標				
1回	ガイダンス／映像とは何か	映像が果たしてきた役割を知る				
2回	タレントCM	日本CMの特徴であるタレントCMとは何かを理解する				
3回	商品のセールスポイント	CMは何を訴求しているのかを知ることで、セールスポイントの概念を理解する				
4回	日本のCM史1	昭和の名作CMを見る				
5回	日本のCM史2	平成の名作CMを見る				
6回	シズルCM	世界共通の食べたくなる映像手法を知る				
7回	ブランド	長寿ブランドとは何かを理解する				
8回	3B①美人の力	映像における美人の意味とは何か。売れる映像の作り方を知る				
9回	3B②赤ちゃん	映像における赤ちゃんの力とは？訴求力のある映像の作り方を知る				
10回	3B③動物	人はなぜ動物を見たがるのか？魅力的な映像の作り方を知る				
11回	キャラクター	キャラクターをタレントとして理解する				
12回	アニメ	アニメと実写の違いを知る				
13回	トップモーションアニメ	キャラクターに命を吹き込むトップモーションアニメについて知る				
14回	デザイナー／アニメ	実際のビジネスで、アニメはどう利用されているのかを知る				
15回	オリンピックと映像	東京オリンピック開催に合わせて、オリンピックと映像の関係を知る				